

MITSUBISHI

M-NET制御インターフェイス 形名：MAC-377IF

取付説明書

販売店・工事店さま用

インターフェイスについて

- インターフェイスには取付けできないルームエアコンがあります。取付けの前に、接続可能なルームエアコンであるか、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 本説明書で不明な点は、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」は、「三菱電機システムサービス」でご用意しております。

安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上取付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付工事終了後、本説明書をお客さまにお渡ししてください。お客さまに、ルームエアコンの「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管していただくよう依頼してください。

⚠警告（誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。）

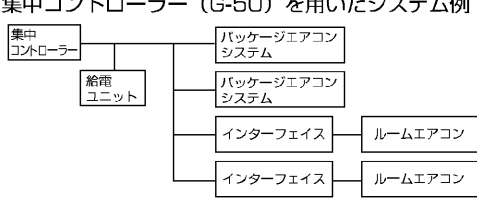
- お客さま自身で取付けはしない。
不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 取付けは、取付工事説明書にしたがって確実にを行う。
取付けに不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 取付けは、重量に十分耐える所に確実にを行う。
強度の不十分な所に取付けると、インターフェイス本体が落下し、ケガの原因になります。
- インターフェイス本体の電気品カバーを確実に取付ける。
インターフェイス本体の電気品カバーの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。
- 取付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
部品に不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、取付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

⚠注意（誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。）

- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除く。
人体などからの静電気は、インターフェイスを破損させるおそれがあります。
- 浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。
水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。
- 特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

1 取付けの前に

1 インターフェイスの用いかた

機能	関連別売部品	システム例
M-NET(※1)を使用したルームエアコン(ハウジングエアコン含む)の集中・個別管理 ①ルームエアコンのワイヤレスリモコン機種ワイヤードリモコン化 ②ビル管理システムMELANSを用いた集中・個別制御 ※1パッケージエアコン制御の一種	・MEリモコン PAR-F27ME ・集中コントローラー G-50 ・給電ユニット PAC-SC50KU CB-33KU-A	集中コントローラー (G-50) を用いたシステム例  ※集中コントローラー(G-50)に接続可能な台数はパッケージエアコン・ルームエアコン合わせて最大50台です。ルームエアコンに使用できるMEリモコンは最大12台まで(給電ユニットPAC-SC50KUを用いて、集中コントローラー1台使用の場合)、インターフェイスから集中コントローラーまでの配線は最遠500mです。インターフェイスからMEリモコンまでの配線は10mです。詳細はMELANSカタログ及び集中コントローラー・MEリモコンの説明書をご覧ください。 ※MEリモコンとルームエアコン付属のリモコンの併用はできません。
<h3>ご注意</h3>		システムコントローラー(G-50など)を使用した場合、パッケージエアコンとルームエアコンを同じグループに登録できません。ルームエアコンは必ず単独で登録してください。

1 取付けの前に

2 適用機種

インターフェイスには接続可能な機種と接続不可の機種がありますので取付けの前に取付けになるエアコンが取付可能か下記適用機種一覧表でご確認ください。
適用機種一覧表にのっていない機種につきましては「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。

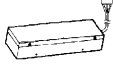





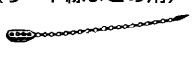









〈適用機種一覧表〉

グループ	設定パターン	適用機種名	接続要領
A	パターン1		5-1.項
B	パターン2	MSZ-VX28KD, VX28JD, VX28HD	5-2.項
	パターン3		
C	パターン4		5-3.項
	パターン5		
	パターン6		
	パターン7		
D	パターン7		5-4.項
	パターン9	MBZ-2814S, 3214S, 4014S ※2	
E	パターン8	MLZ-2804S (-IN), 3204S (-IN), 4004S (-IN)	5-5.項
F	パターン10	MSZ-VX22K, VX25K, VX28K, VX28KS, VX32K, VX32KS, VX40KS, VX40KD, VX50KS, VX50KD, VS22K, VS25K, VS28K, VS28KS, VS40KS, VS50KS, KS20K, KS20J, GXV22J, GXV25J, GXV28J, GXV28JS, VX22J, VX25J, VX28J, VX28JS, VX32J, VX32JS, VX40JS, VX40JD, VX50JS, VX50JD, VS22J, VS25J, VS28J, VS28JS, VS40JS, VS50JS, VX22H, VX25H, VX28H, VX28HS, VX32H, VX32HS, VX40HS, VX40HD, VX50HS, VX50HD, VS22H, VS25H, VS28H, VS28HS, KS20H, VX40AS, VX50AS, 22GS, 25GS, 28GS, 32GS, 40GS, 50GS, MX208X, MX208XP, MX228XS, MX228XSP, MX258XS, MX258XSP, MX288XSP, VX208X, VX228XS, VX258XS, VX288XS, VX328XS, VX408XS MLZ-RX28JS (-IN), RX32JS (-IN), RX40JS (-IN), RX50JS (-IN), RX36RS (-IN), GX28JS (-IN), GX32JS (-IN), GX40JS (-IN), GX50JS (-IN), GX36RS (-IN), 22KXS, 25KXS, 28KXS, 32KXS, 40KXS, W40GS (-IN), W50GS (-IN), W56GS, W40PS (-IN), W50PS (-IN), W56PS (-IN), 22FXS, 25FXS, 28FXS, 32FXS, 40FXS, 22GS (-IN), 25GS (-IN), 22PS (-IN), 25PS (-IN), 2817S (-IN), 3217S (-IN), 4017S (-IN), 5017S (-IN) MTZ-22GS, 25GS, 28GS, 32GS, 40GS, 22KXS, 25KXS, 28KXS, 32KXS, 40KXS, 22GS (-IN), 25GS (-IN), 28GS (-IN), 32GS (-IN), 40GS (-IN), 36RS (-IN) MSH-2237L, 2837LS	5-6.項
	パターン11		
	パターン12		
	パターン13		
	パターン14	MSY-288, 328, 408S MS-208, 258, 258S	
	パターン15	MBZ-28PS (-IN), 32PS (-IN), 40PS (-IN), 50PS (-IN)	

※2.マルチ室外機の室内ユニットとして使用する場合は、インターフェイスの接続は不可となります。

3 付属部品

下記の付属部品が同梱されていますのでご確認ください。

構成部品	数量	構成部品	数量	構成部品	数量	構成部品	数量
① インターフェイス本体 	1	⑤ 壁面固定用金具 	2	⑨ ⑦、⑧の収納袋 	1	⑬ バンド 	2
② コードクランプ (小) 	1	⑥ ⑤の固定用ネジ 4×10 	4	⑩ ファスナー (リード線まとめ用) 	5	⑭ リード線 	1
③ コードクランプ (大) 	1	⑦ 中間接続基板 	1	⑪ コードクランプ 	5	⑮ ⑤の固定用ネジ 4×16 	4
④ ②、③の固定用ネジ 4×10 	2	⑧ 中間接続基板 	1	⑫ ⑪の固定用ネジ 3.5×16 	5	⑯ リード線 	1

4 現地で準備していただく部品

下記の部品につきましては別途現地でご用意くださるようお願いいたします。

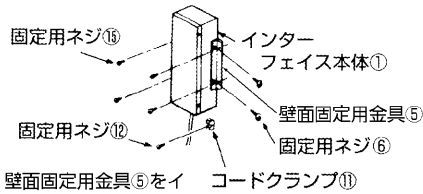
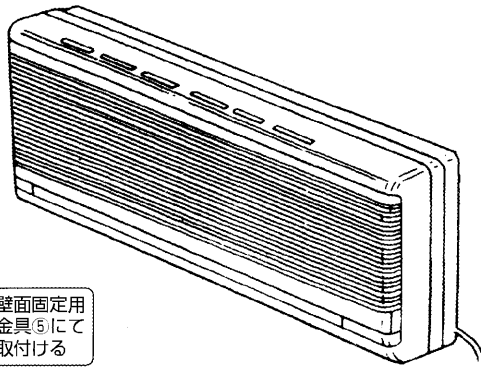
必要部品			
Ⓐ 接続電線 (インターフェイス電源用) VVVFケーブル 2芯 φ1.6からφ2.0mm	Ⓒ 接続電線 (システムコントローラー・MEUモコン接続用) シールド線 CVVS・CPEVS	Ⓓ アース線 *詳しくは「④アース工事 について」をご覧ください。	Ⓔ 関連別売部品 システムにより必要な別売部品を 必要数でご用意ください。

2 インターフェイス本体の取付けかた

インターフェイス本体の設置場所はインターフェイスからのリード線が室内ユニットへ届く範囲としてください。リード線の現地での延長は正常に動作しなくなりますので絶対に行わないでください。

* インターフェイス本体の取付けは壁面固定用金具を本体へ取付け後、柱・壁などに4本のネジを使って確実に固定してください。

(1) 壁掛形

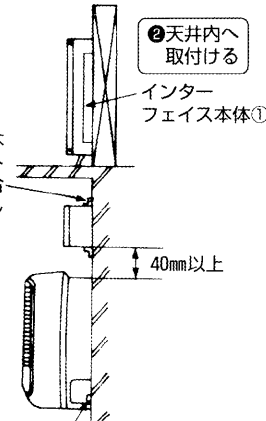


壁面固定用金具⑤をインターフェイス本体に固定ネジ⑬4本を使って取付ける。

コードクランプ⑪

インターフェイス本体①を室内ユニット

上部に取付ける場合には、40mm以上離してください。



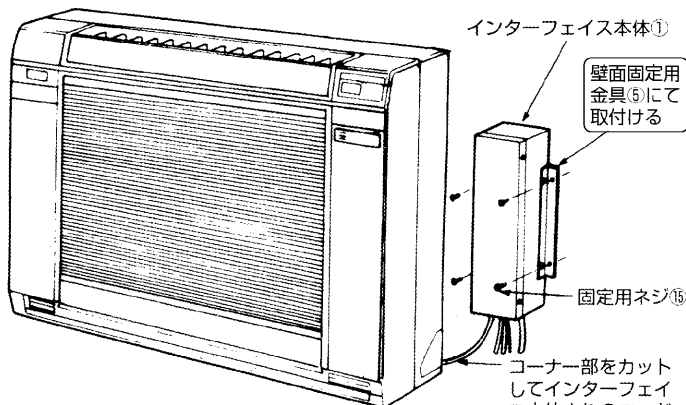
②天井内へ取付ける

ご注意

- ① インターフェイス本体を天井内・壁内へ取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。
- ② 取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑩によりとりまとめてください。

この部分をカットしてインターフェイス本体のコードを通してください。(ユニットによって、ユニットと壁とのすき間でインターフェイス本体よりのコードが取出せません。) 余ったリード線は、ユニット本体後部の配管スペースへ収納してください。

(2) 床置形

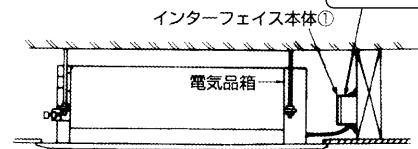
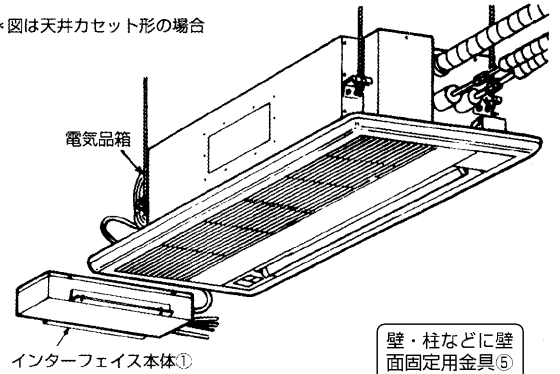


ご注意

取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑩によりとりまとめてください。

(3) 天井カセット形・フリービルトイン形 (下り天井、天埋設置)

* 図は天井カセット形の場合



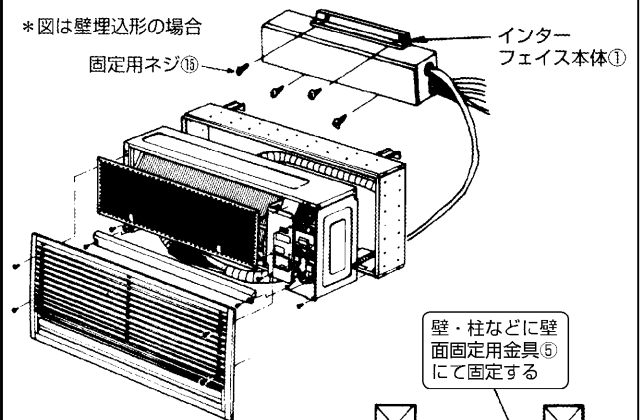
(インターフェイス本体設置場所)

ご注意

- ① インターフェイス本体を天井内・壁内へ取付ける場合には、点検口を設けてください。
- ② インターフェイス本体はできるだけユニットの電気部品箱の付近に設置してください。
- ③ 取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑩によりとりまとめてください。

(4) 壁埋込形・フリービルトイン形 (天袋、地袋設置)

* 図は壁埋込形の場合



室内ユニット

ご注意

- ① インターフェイス本体を天井内・壁内へ取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。
- ② 取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑩によりとりまとめてください。

インターフェイス本体①

3 ご使用上の注意事項

試運転前に一度お読みください。
 ルームエアコン単体の試運転は必ずルームエアコン本体の
 応急運転スイッチで行ってください。

以下の制約内容については実際にご使用になる方に十分なお説明の上お渡しください。
 (取付け後はご使用される方に本紙をお渡しください。)

- 本インターフェイスはルームエアコンをパッケージエアコンの制御で動作させるものですが、ルームエアコンとパッケージエアコンの機能上の違いからいくつかの制約が出てきます。特に以下の内容にはご注意ください。
- ①システムコントローラーの電源とインターフェイスの電源とルームエアコンの電源は同じタイミングで入れてください。
 - ②ルームエアコン付属のリモコンと、MEリモコンの併用はしないでください。
 リモコン表示及びエアコンの動作に不具合がでることがあります。
 - ③ルームエアコン独自の運転モード（例えばカビガードなど）については、MEリモコン・システムコントローラーで動作させることはできません。ルームエアコン付属のリモコンで独自の運転モードを設定した場合、MEリモコン・システムコントローラーには対応するモードがないため“自動”と表示されます。
 - ④MEリモコン・システムコントローラーに備わっていてルームエアコンに備わっていない機能については、あらかじめ決められた別の運転モードに変換されて運転します。（“MEリモコン・システムコントローラー操作時のルームエアコン動作対応表”を参照してください。）
 - ⑤ルームエアコン付属のリモコンに備わっていてMEリモコン・システムコントローラーに備わっていない機能については、あらかじめ決められた表示になります。この場合には実際の動作と表示内容は異なります。（ルームエアコン付属のリモコンで風速自動に設定されるとMEリモコン・システムコントローラーには強と表示されます。また同様に風向自動に設定されるとMEリモコン・システムコントローラーには水平と表示されます。）
 - ⑥温度設定については、設定温度範囲がルームエアコンの方が広いため、ルームエアコンで17℃以下、または30℃以上に設定された場合、MEリモコン・システムコントローラーの設定温度表示は、MEリモコン・システムコントローラーで設定できる値のそれぞれ下限、上限に置き換えられて表示される場合があります。（例えばルームエアコンで暖房時16℃と設定されても、MEリモコン・システムコントローラーの表示は17℃となる場合があります）
 MEリモコンの室温表示はルームエアコンの制御には使用されません。（ルームエアコンの検出温度は表示しません）
 MEリモコンでの検出温度を表示します。また自動運転を使用する場合、MEリモコン・システムコントローラーで検出した温度でモードが決定するため、取付位置に注意してください。
 - ⑦タイマー運転は、ルームエアコン付属のリモコンか、MEリモコン・システムコントローラーかどちらか一方でのみ設定してください。
 同時期に両方で設定が行われますとタイマーが正常にはたらかません。
 - ⑧ルームエアコン付属のリモコンでタイマー設定した場合、MEリモコン・システムコントローラーにはタイマーの表示はされません。
 - ⑨MEリモコン・システムコントローラーでタイマー設定されている場合に、ルームエアコン付属のリモコンで運転を停止しても、MEリモコン・システムコントローラーのタイマーは解除されません。
 - ⑩MEリモコン・システムコントローラーで手元禁止にした場合は、ルームエアコン付属のリモコンの操作は受けなくなりますが、操作時の受信音は鳴ります。また、手元禁止を設定する場合は、運転制御命令（運転停止など）から操作禁止指令まで3分以上の遅延時間を設けてください。
 - ⑪MEリモコン・システムコントローラーに異常内容が表示された場合、異常の表示をクリアするには、MEリモコン・システムコントローラーまたはルームエアコン付属のリモコンで一度運転を停止してください。（エアコン本体の異常表示は自動復旧する場合がありますが、MEリモコン・システムコントローラーの異常表示は運転停止しない限り復旧しません。）

MEリモコン・システムコントローラー操作時のルームエアコン動作対応表

MEリモコン・システムコントローラーを操作したときに、ルームエアコンが動作する内容を示します。

	MEリモコン・システム コントローラーの操作・ 表示	ルームエアコンの動作		MEリモコン・システム コントローラーの操作・ 表示	ルームエアコンの動作
電源	運転/停止	運転/停止	風速設定	弱 中1 中2 強	静 静 弱 強
運転モード	送風 自動冷房 自動暖房 冷房 暖房 ドライ	送風 冷房 暖房 冷房 暖房 ドライ		風向調節	水平吹き 60% 80% 下吹き スイング
温度設定	17℃～30℃	17℃～30℃			

スイッチ設定によっては表示されない項目があります。
 ルームエアコン付属のリモコンで操作された場合にはルームエアコンは操作された内容と同じ動作をします。そのときにMEリモコン・システムコントローラーの表示内容は実際の動作と異なることがあります。（“ご使用上の注意事項”をご覧ください）

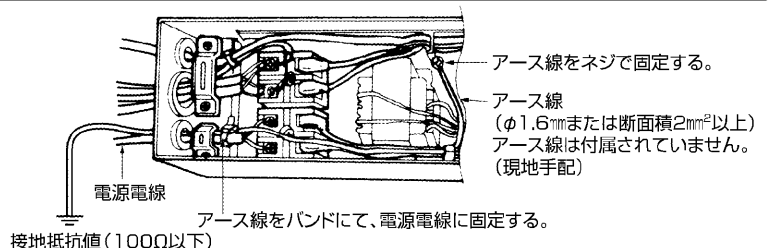
4 アース工事について

●インターフェイス本体のアース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の資格のある方が実施してください。

接地の基準	電源の条件	エアコンの種類	据付場所	水気のある場所	湿気が多い場所	乾燥した場所
	交流対地電圧が150V以下の場合	単相100Vの機種 単相200V(単相3線式200V電線)の機種	三相200Vの機種	漏電ブレーカーを取付け、さらにD種接地工事が必要です。	D種接地工事が必要です。	D種接地工事は法的には除外されていますが安全のため接地工事をしてください。

＜D種接地工事について＞

- 接地工事は電気工事士の資格のある方が実施してください。
- 接地抵抗値は100Ω以下であることを確かめてください。
 (漏電ブレーカーを取付けた場合は500Ω以下であることを確かめてください。)

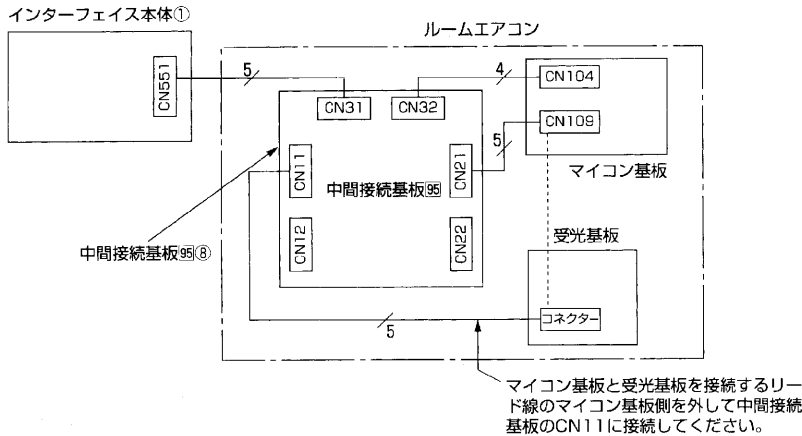


5-1 接続要領 (グループAの場合)

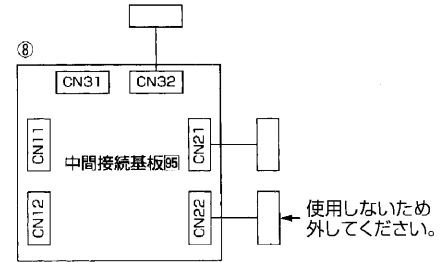
1 インターフェイスとルームエアコンの接続

●インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。

・インターフェイス基板と補助基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。



中間接続基板⑨の出荷状態

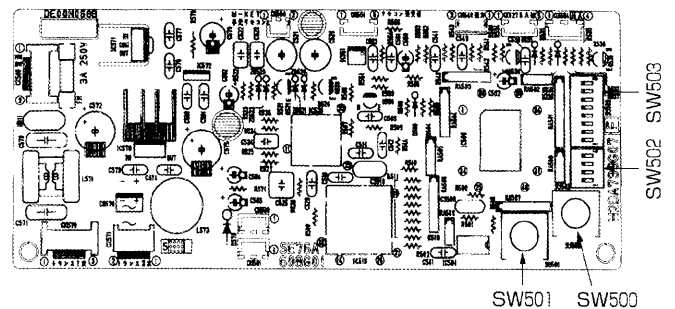


2 ディップスイッチの設定

*正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

SW501, SW500...アドレス設定SW		SW503	パターン1
集中管理用のアドレス設定を行います。	<p>10の位のアドレス 1の位のアドレス</p> <p>SW501が10の位のアドレス、SW500が1の位のアドレスとなりますので、例えばアドレスを「25」に設定する場合にはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。</p>	このグループの機種の設定は右のようにしてください。	
SW502の1番...MEリモコン接続数の設定	1台		
MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する場合 (SW502の2番をOFFに設定)、MEリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。	<p>2台</p>		
SW502の2番...接続構成の設定	集中管理		
(1) M-NETのシステムにルームエアコンを接続する (集中管理) (2) MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する (単独設置)	<p>単独設置</p>		
SW502の3番、4番...RAC号機切換スイッチ	1号機		
一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用するには1号機に設定してください。もし個別運転をするときは、エアコン本体の基板及びリモコンの改造も必要となります。	<p>2号機</p> <p>3号機</p> <p>4号機</p>		

3 インターフェイス基板



4 インターフェイスと電源電線及びMEリモコンの接続

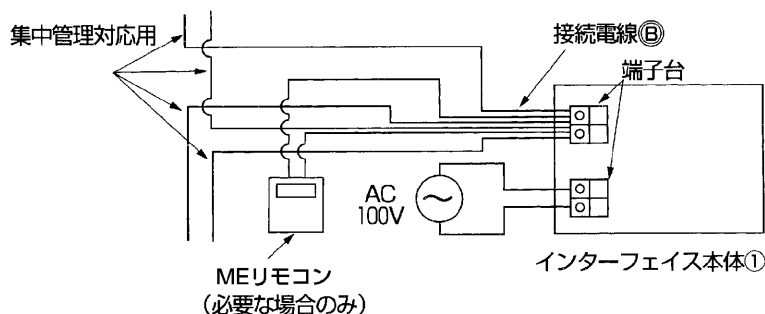
※電源を入れた状態で、信号線の取付け／取外しの作業をしないでください。

また、電源を入れた状態で信号線を短絡させないでください。

インターフェイスにはAC100V電源が必要です。電源電線接続作業が必要です。（電線は現地手配）

システムコントローラーとの接続を行う場合にはシステムコントローラーとの接続作業が必要です。（電線は現地手配）

MEリモコンを使用する場合にはMEリモコンとの接続作業が必要です。（電線は現地手配）

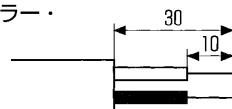


電線皮むき寸法

VVFケーブル
2芯

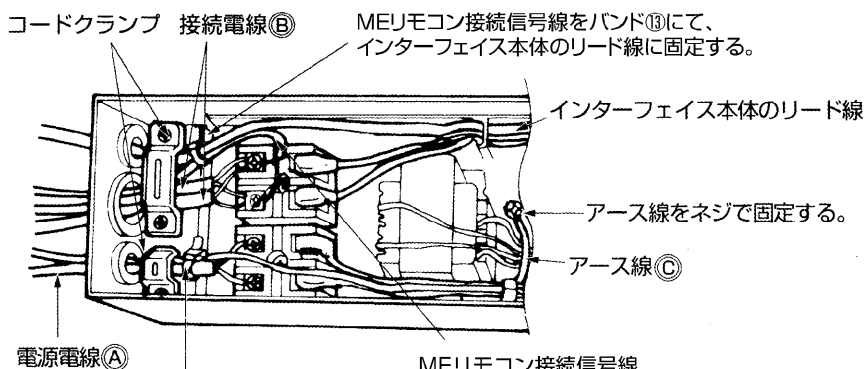


適用システムコントローラー・
MEリモコン接続信号線
2芯

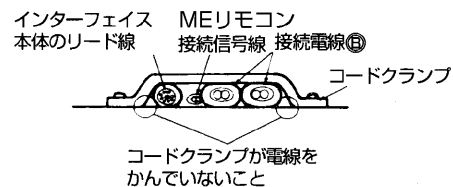


注意

- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。
- ②電源回路はインターフェイス専用回路としてください。
- ③アース工事については"④アース工事について"をご覧ください。
- ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。



※端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。



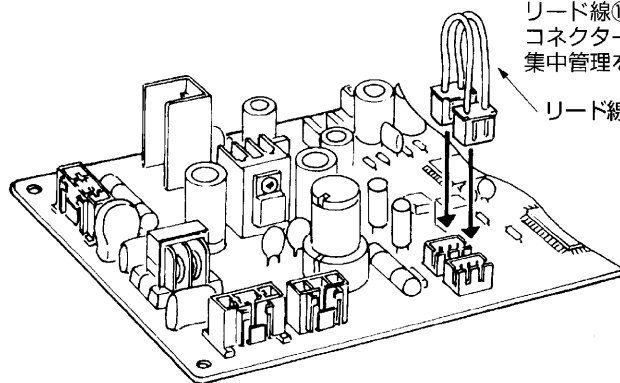
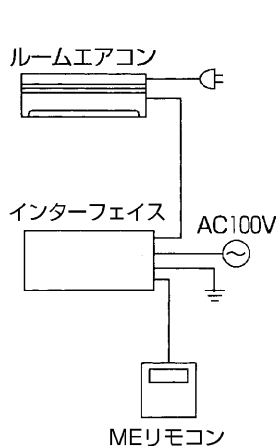
アース線をバンド (B)にて、電源電線に固定する。

MEリモコン接続信号線
MEリモコンの接続信号線をインターフェイス本体へ挿入するときは、必ず接続電線 (C)と同じ入り口から挿入し、左図のように接続電線 (C)の横を通し、重ねて固定しないでください。

注意

配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。
工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

5 単独設置時の追加作業 (集中管理を行わずワイヤレスリモコンをワイヤード化したい場合に必要な作業です)



リード線 (B)をインターフェイス本体のコネクターCN590、CN591に取付けてください。
集中管理を行う場合には取付けないでください。

リード線 (B)

単独設置時のMEリモコンのアドレス設定

ルームエアコンをワイヤード化する場合のMEリモコンのアドレス設定は、1台接続時には101に、2台接続時には101、102に設定してください。設定のしかたはMEリモコンに付属の説明書をご覧ください。

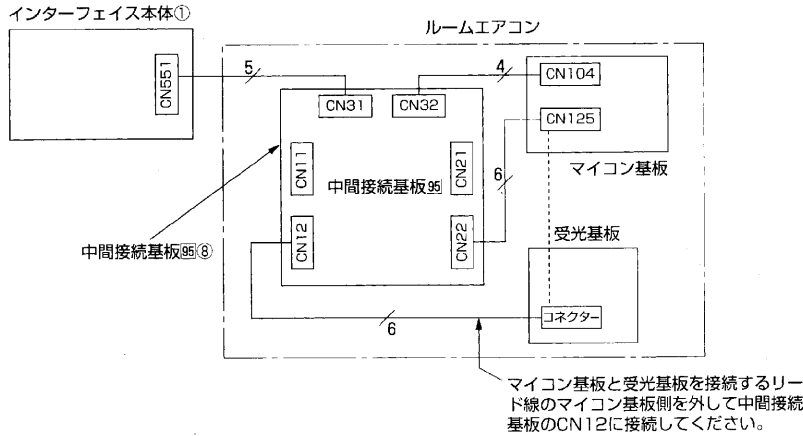
注意
基板上的SW502の2番が、単独設置になっていないことを確認してください。
("②"ディップスイッチの設定)をご覧ください)

5-2 接続要領 (グループBの場合)

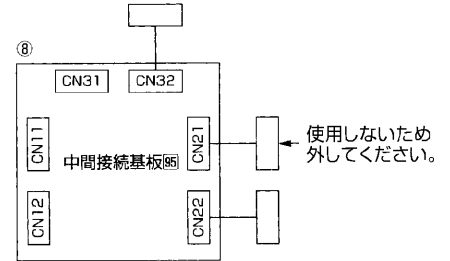
1 インターフェイスとルームエアコンの接続

●インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。

・インターフェイス基板と補助基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。



中間接続基板⑧の出荷状態



2 ディップスイッチの設定

*正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

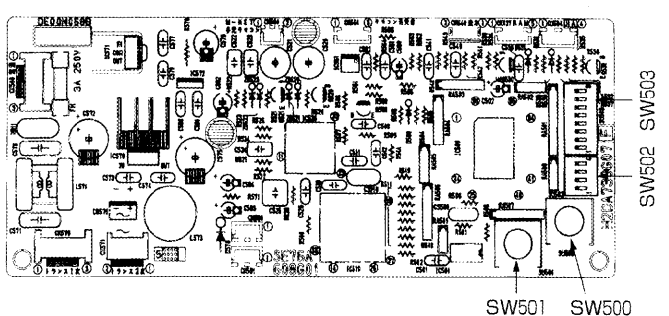
SW501、SW500…アドレス設定SW 集中管理用のアドレス設定を行います。	SW501 10の位のアドレス SW500 1の位のアドレス SW501が10の位のアドレス、SW500が1の位のアドレスとなりますので、 例えば アドレスを「25」に設定する場合にはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。
SW502の1番…MEリモコン接続数の設定 MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する場合 (SW502の2番をOFFに設定)、MEリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。	1台 2台
SW502の2番…接続構成の設定 (1) M-NETのシステムにルームエアコンを接続する (集中管理) (2) MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する (単独設置)	集中管理 単独設置
SW502の3番、4番…RAC号機切換スイッチ 一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用する場合には1号機に設定してください。もし個別運転をするときは、エアコン本体の基板及びリモコンの改造も必要となります。	1号機 2号機 3号機 4号機

SW503
このグループの機種の設定は右のようにしてください。

パターン2

パターン3

3 インターフェイス基板



4 インターフェイスと電源電線及びMEリモコンの接続

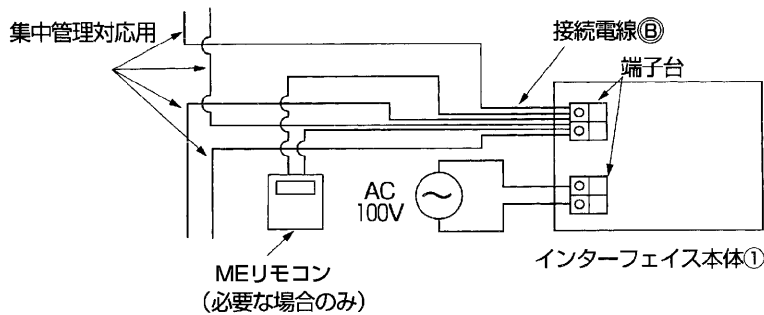
※電源を入れた状態で、信号線の取付け／取外しの作業をしないでください。

また、電源を入れた状態で信号線を短絡させないでください。

インターフェイスにはAC100V電源が必要ですので電源電線接続作業が必要です。(電線は現地手配)

システムコントローラーとの接続を行う場合にはシステムコントローラーとの接続作業が必要です。(電線は現地手配)

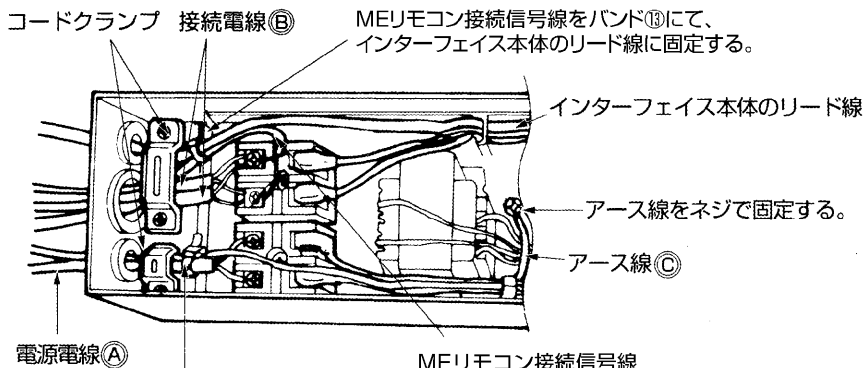
MEリモコンを使用する場合にはMEリモコンとの接続作業が必要です。(電線は現地手配)



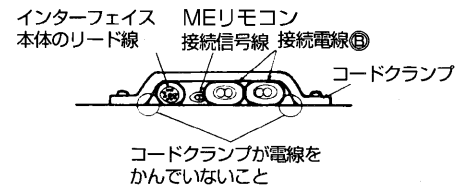
電線皮むき寸法

VVFケーブル 2芯	
適用システムコントローラー・ MEリモコン接続信号線 2芯	

- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。
 ②電源回路はインターフェイス専用回路としてください。
 ③アース工事については"④アース工事について"をご覧ください。
 ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。



※端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。

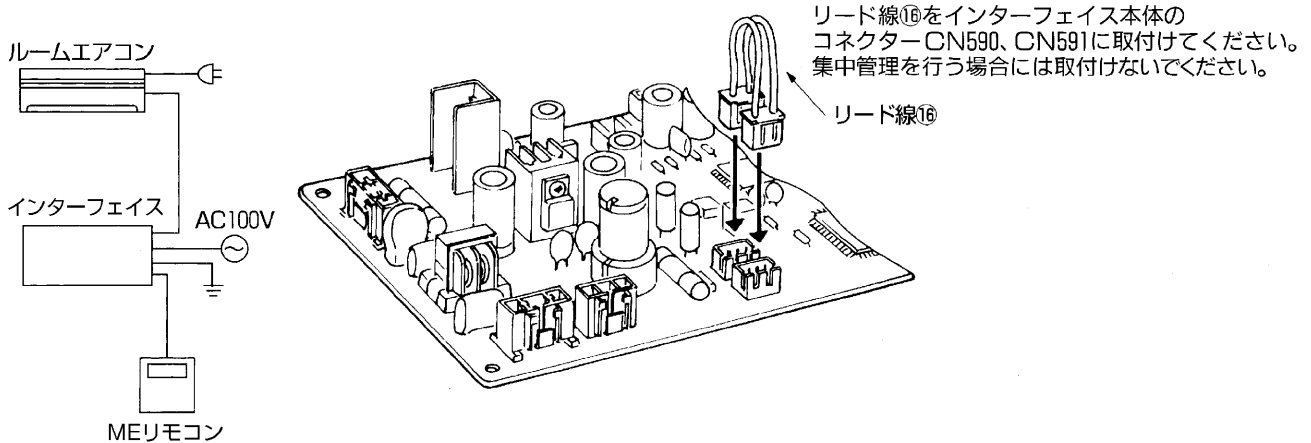


電源電線⑨
アース線をバンド⑬にて、電源電線に固定する。

MEリモコン接続信号線
MEリモコンの接続信号線をインターフェイス本体へ挿入するときは、必ず接続電線⑩と同じ入り口から挿入し、左図のように接続電線⑩の横を通し、重ねて固定しないでください。

ご注意
配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。
工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

5 単独設置時の追加作業 (集中管理を行わずワイヤレスリモコンをワイヤード化したい場合に必要な作業です)



単独設置時のMEリモコンのアドレス設定

ルームエアコンをワイヤード化する場合のMEリモコンのアドレス設定は、1台接続時には101に、2台接続時には101、102に設定してください。設定のしかたはMEリモコンに付属の説明書をご覧ください。

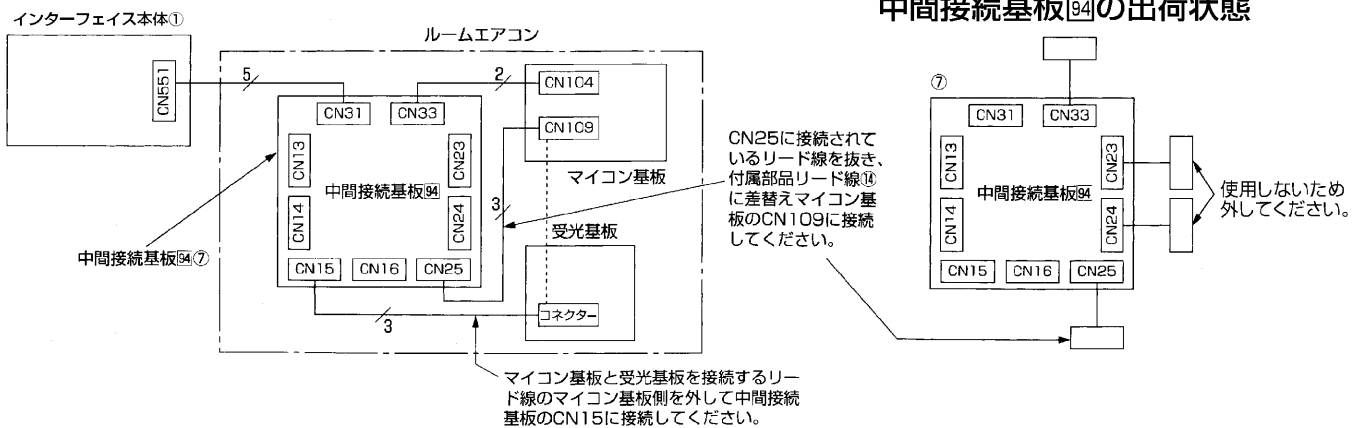
ご注意
基板上のSW502の2番が、単独設置になっていることを確認してください。
("②ディップスイッチの設定"をご覧ください)

5-3 接続要領 (グループCの場合)

1 インターフェイスとルームエアコンの接続

●インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。

・インターフェイス基板と補助基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。



2 ディップスイッチの設定

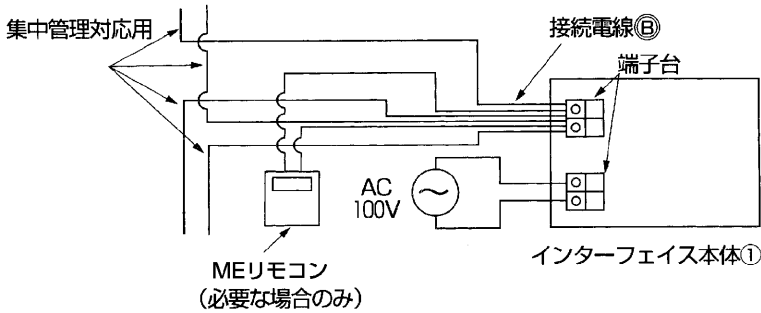
*正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

<p>SW501, SW500...アドレス設定SW</p> <p>集中管理用のアドレス設定を行います。</p>	<p>SW501 SW500</p> <p>10の位のアドレス 1の位のアドレス</p> <p>SW501が10の位のアドレス、SW500が1の位のアドレスとなりますので、例えばアドレスを「25」に設定する場合にはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。</p>	<p>SW503</p> <p>このグループの機種の設定は右のようになっています。</p>	<p>パターン4</p> <p>パターン5</p> <p>パターン6</p> <p>パターン7</p>
<p>SW502の1番...MEリモコン接続数の設定</p> <p>MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する場合 (SW502の2番をOFFに設定)、MEリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。</p>	<p>1台 2台</p>	<h2>3 インターフェイス基板</h2>	
<p>SW502の2番...接続構成の設定</p> <p>(1) M-NETのシステムにルームエアコンを接続する (集中管理)</p> <p>(2) MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する (単独設置)</p>	<p>集中管理 単独設置</p>		
<p>SW502の3番、4番...RAC号機切換スイッチ</p> <p>一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用するには1号機に設定してください。もし個別運転をするときは、エアコン本体の基板及びリモコンの改造も必要となります。</p>	<p>1号機 2号機 3号機 4号機</p>		

4 インターフェイスと電源電線及びMEリモコンの接続

※電源を入れた状態で、信号線の取付け／取外しの作業をしないでください。
また、電源を入れた状態で信号線を短絡させないでください。

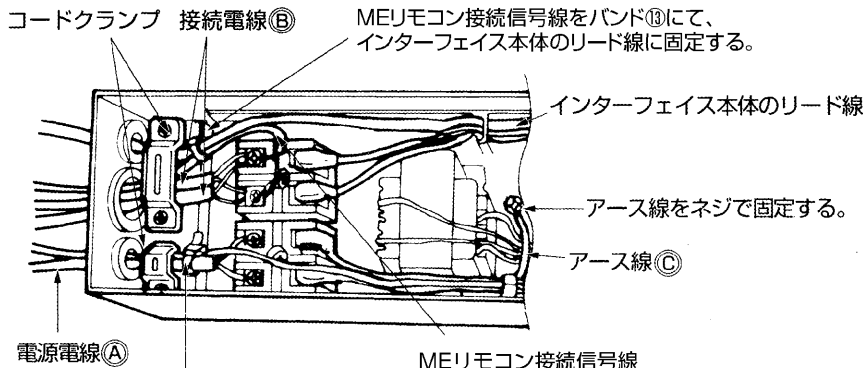
インターフェイスにはAC100V電源が必要です。電源電線接続作業が必要です。(電線は現地手配)
システムコントローラーとの接続を行う場合にはシステムコントローラーとの接続作業が必要です。(電線は現地手配)
MEリモコンを使用する場合にはMEリモコンとの接続作業が必要です。(電線は現地手配)



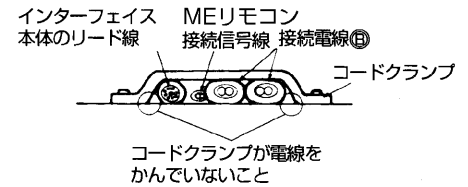
電線皮むき寸法

VVFケーブル 2芯	
適用システムコントローラー・ MEリモコン接続信号線 2芯	

- 注意**
- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。
 - ②電源回路はインターフェイス専用回路としてください。
 - ③アース工事については「④アース工事について」をご覧ください。
 - ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。



※端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。



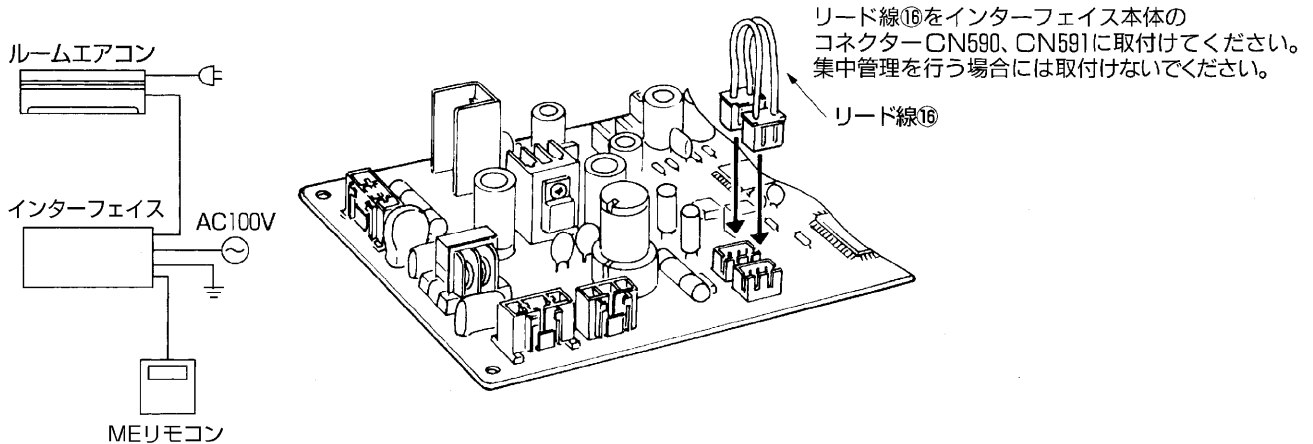
電源電線①
アース線をバンド③にて、電源電線に固定する。

MEリモコン接続信号線
MEリモコンの接続信号線をインターフェイス本体へ挿入するときは、必ず接続電線⑤と同じ入り口から挿入し、左図のように接続電線⑤の横を通し、重ねて固定しないでください。

注意

配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。
工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

5 単独設置時の追加作業 (集中管理を行わずワイヤレスリモコンをワイヤード化したい場合に必要な作業です)



単独設置時のMEリモコンのアドレス設定

ルームエアコンをワイヤード化する場合のMEリモコンのアドレス設定は、1台接続時には101に、2台接続時には101、102に設定してください。設定のしかたはMEリモコンに付属の説明書をご覧ください。

注意

基板上的SW502の2番が、単独設置になっていることを確認してください。
「②ディップスイッチの設定」をご覧ください。

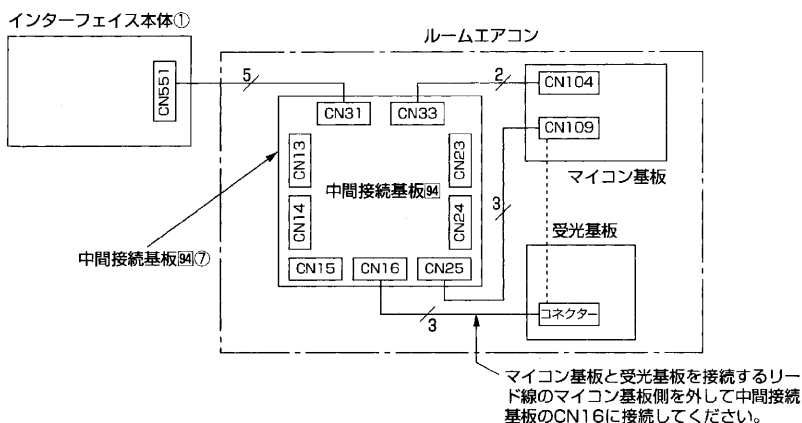
5-4 接続要領 (グループDの場合)

※天井カセット形エアコンの風向調節は、MEリモコンおよびシステムコントローラーではできません。

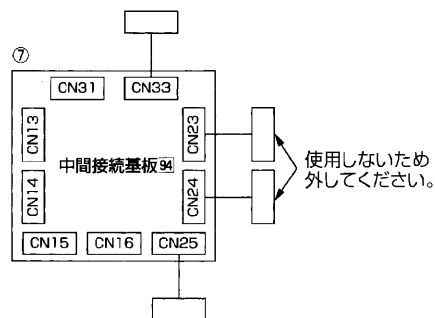
1 インターフェイスとルームエアコンの接続

●インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。

・インターフェイス基板と補助基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。



中間接続基板(7)の出荷状態

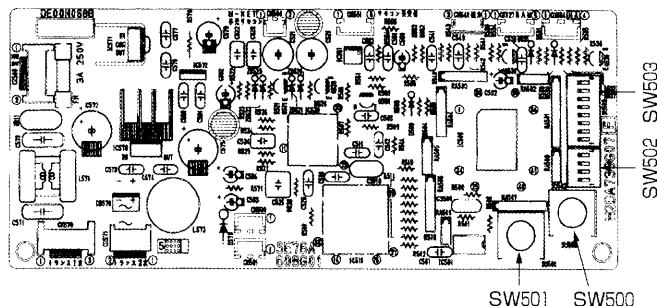


2 ディップスイッチの設定

*正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

SW501, SW500…アドレス設定SW		SW503	パターン7
集中管理用のアドレス設定を行います。	<p>10の位のアドレス 1の位のアドレス</p> <p>SW501が10の位のアドレス、SW500が1の位のアドレスとなりますので、例えばアドレスを「25」に設定する場合にはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。</p>	このグループの機種の設定は右のようになっています。	
SW502の1番…MEリモコン接続数の設定	<p>1台</p>		<p>パターン9</p>
MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する場合 (SW502の2番をOFFに設定)、MEリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。	<p>2台</p>		
SW502の2番…接続構成の設定	<p>※集中管理</p>		
(1) M-NETのシステムにルームエアコンを接続する (集中管理) (2) MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する (単独設置)	<p>単独設置</p>		
SW502の3番、4番…RAC号機切換スイッチ			
一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用するには1号機に設定してください。もし個別運転をするときは、エアコン本体の基板及びリモコンの改造も必要となります。	<p>1号機</p> <p>2号機</p> <p>3号機</p> <p>4号機</p>		

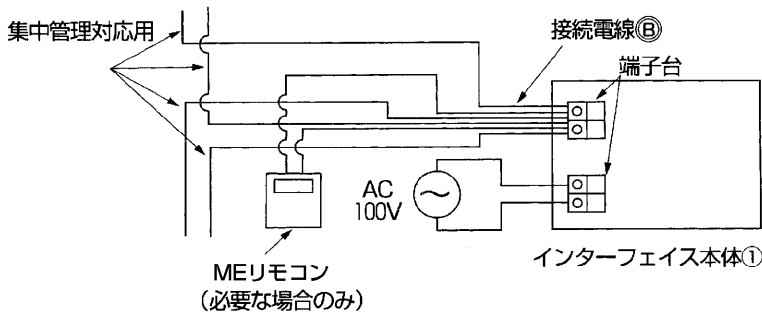
3 インターフェイス基板



4 インターフェイスと電源電線及びMEリモコンの接続

※電源を入れた状態で、信号線の取付け／取外しの作業をしないでください。
また、電源を入れた状態で信号線を短絡させないでください。

インターフェイスにはAC100V電源が必要ですので電源電線接続作業が必要です。(電線は現地手配)
システムコントローラーとの接続を行う場合にはシステムコントローラーとの接続作業が必要です。(電線は現地手配)
MEリモコンを使用する場合にはMEリモコンとの接続作業が必要です。(電線は現地手配)

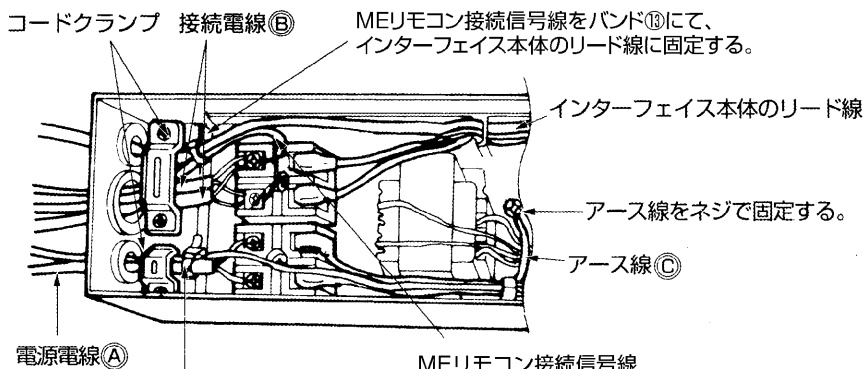


電線皮むき寸法

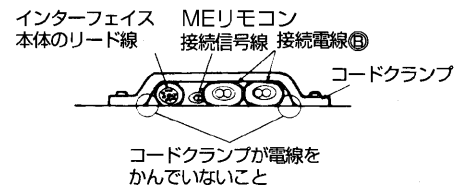
VVFケーブル 2芯	
適用システムコントローラー・ MEリモコン接続信号線 2芯	

ご注意

- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。
- ②電源回路はインターフェイス専用回路としてください。
- ③アース工事については「④アース工事について」をご覧ください。
- ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。

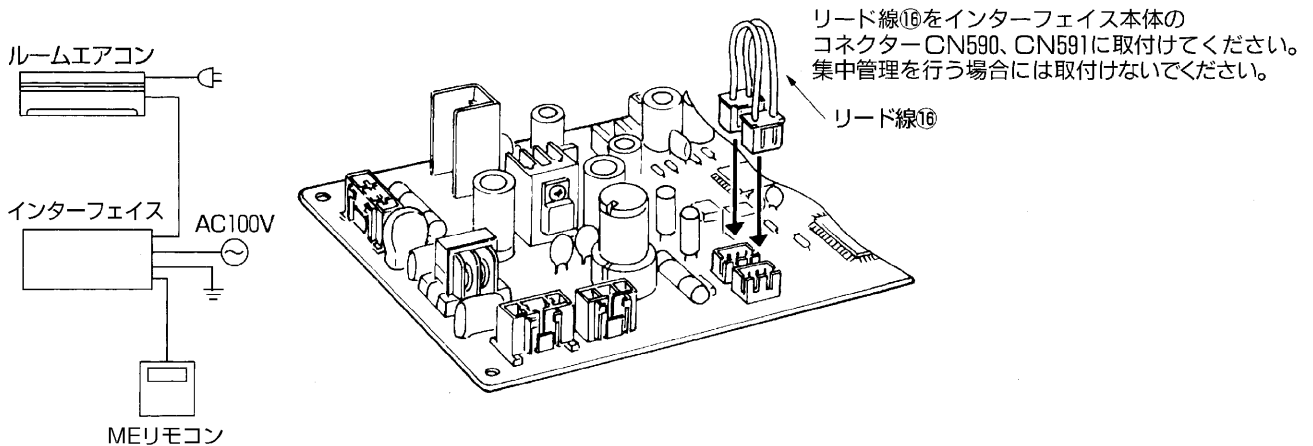


※端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。



ご注意 配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。
工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

5 単独設置時の追加作業 (集中管理を行わずワイヤレスリモコンをワイヤード化したい場合に必要な作業です)



単独設置時のMEリモコンのアドレス設定

ルームエアコンをワイヤード化する場合のMEリモコンのアドレス設定は、1台接続時には101に、2台接続時には101、102に設定してください。設定のしかたはMEリモコンに付属の説明書をご覧ください。

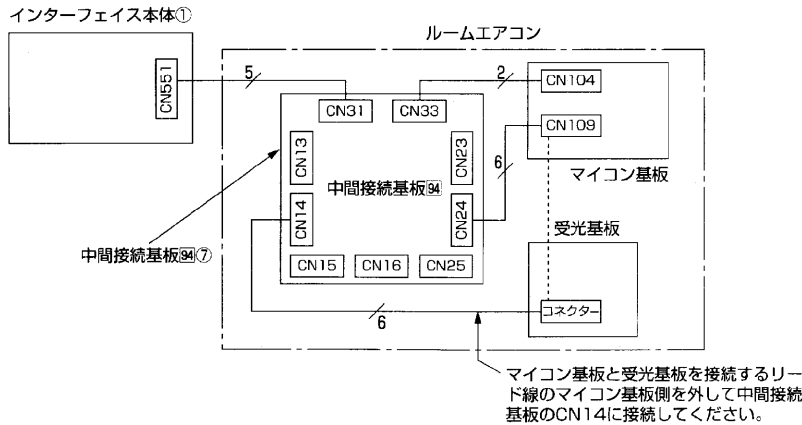
ご注意 基板上のSW502の2番が、単独設置になっていることを確認してください。
(「②ディップスイッチの設定」をご覧ください)

5-5 接続要領 (グループEの場合)

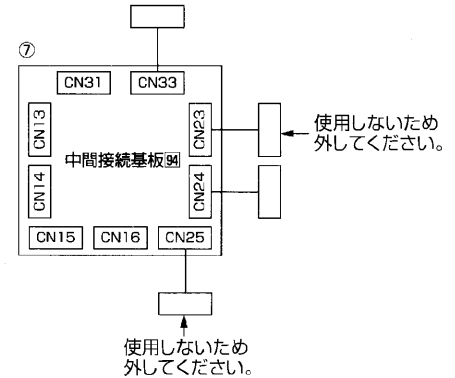
1 インターフェイスとルームエアコンの接続

●インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。

・インターフェイス基板と補助基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。

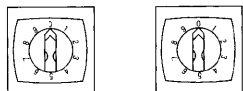

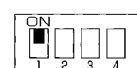

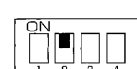
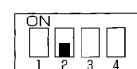

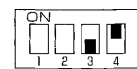
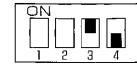



中間接続基板 94 の出荷状態

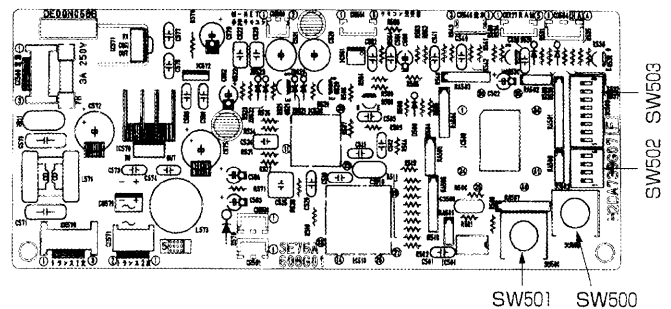


2 ディップスイッチの設定

*正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

<p>SW501, SW500...アドレス設定SW</p> <p>集中管理用のアドレス設定を行います。</p>	<p>SW501 SW500</p>  <p>10の位のアドレス 1の位のアドレス</p> <p>SW501が10の位のアドレス、SW500が1の位のアドレスとなりますので、 例えば アドレスを「25」に設定する場合にはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。</p>	<p>SW503</p> <p>このグループの機種の設定は右のようになってください。</p> <p>パターン8</p> 
<p>SW502の1番...MEリモコン接続数の設定</p> <p>MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する場合 (SW502の2番をOFFに設定)、MEリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。</p>	<p>1台 </p> <p>2台 </p>	
<p>SW502の2番...接続構成の設定</p> <p>(1) M-NETのシステムにルームエアコンを接続する (集中管理)</p> <p>(2) MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する (単独設置)</p>	<p>集中管理 </p> <p>単独設置 </p>	
<p>SW502の3番、4番...RAC号機切換スイッチ</p> <p>一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用する場合には1号機に設定してください。もし個別運転をするときは、エアコン本体の基板及びリモコンの改造も必要となります。</p>	<p>1号機 </p> <p>2号機 </p> <p>3号機 </p> <p>4号機 </p>	

3 インターフェイス基板



4 インターフェイスと電源電線及びMEリモコンの接続

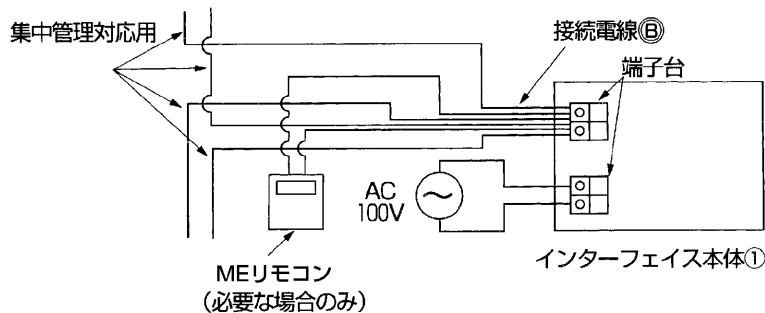
※電源を入れた状態で、信号線の取付け／取外しの作業をしないでください。

また、電源を入れた状態で信号線を短絡させないでください。

インターフェイスにはAC100V電源が必要です。電源電線接続作業が必要です。（電線は現地手配）

システムコントローラーとの接続を行う場合にはシステムコントローラーとの接続作業が必要です。（電線は現地手配）

MEリモコンを使用する場合にはMEリモコンとの接続作業が必要です。（電線は現地手配）

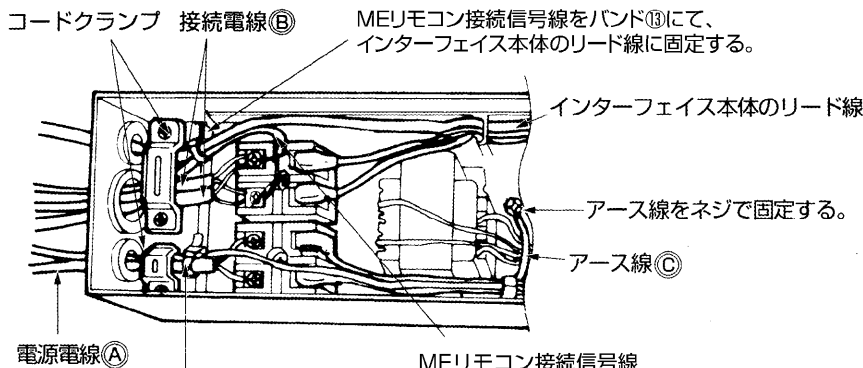


電線皮むき寸法

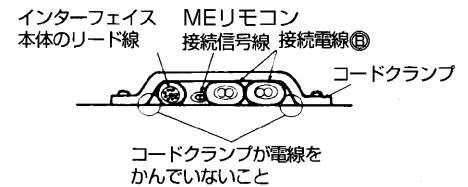
VVFケーブル 2芯	
適用システムコントローラー・ MEリモコン接続信号線 2芯	

【注意】

- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。
- ②電源回路はインターフェイス専用回路としてください。
- ③アース工事については"④アース工事について"をご覧ください。
- ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。



※端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。

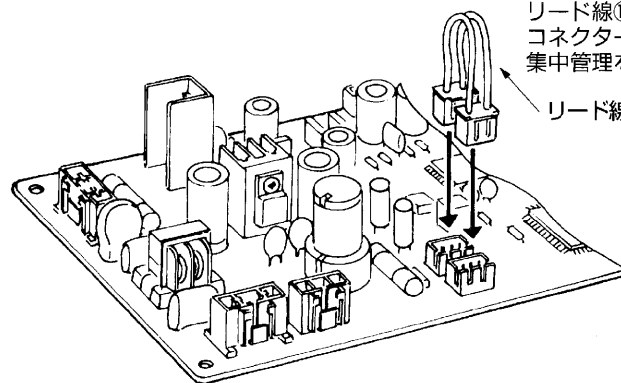
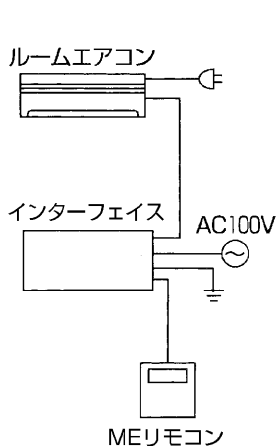


電源電線④
アース線をバンド⑬にて、電源電線に固定する。

MEリモコン接続信号線
MEリモコンの接続信号線をインターフェイス本体へ挿入するときは、必ず接続電線③と同じ入り口から挿入し、左図のように接続電線③の横を通し、重ねて固定しないでください。

【注意】
配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。
工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

5 単独設置時の追加作業 (集中管理を行わずワイヤレスリモコンをワイヤード化したい場合に必要な作業です)



リード線⑬をインターフェイス本体のコネクターCN590、CN591に取付けてください。
集中管理を行う場合には取付けないでください。

単独設置時のMEリモコンのアドレス設定

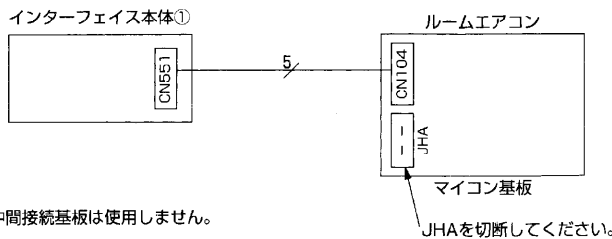
ルームエアコンをワイヤード化する場合のMEリモコンのアドレス設定は、1台接続時には101に、2台接続時には101、102に設定してください。設定のしかたはMEリモコンに付属の説明書をご覧ください。

【注意】
基板上的SW502の2番が、単独設置になっていないことを確認してください。
("②"ディップスイッチの設定)をご覧ください)

5-6 接続要領 (グループFの場合)

1 インターフェイスとルームエアコンの接続

●インターフェイス基板とルームエアコンの室内マイコン基板とを接続します。



注) 中間接続基板は使用しません。

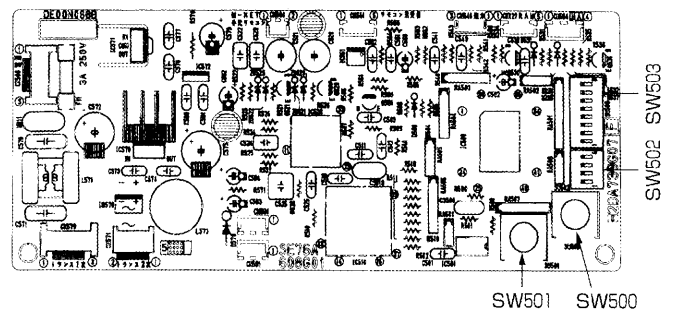
・インターフェイス基板とエアコンのマイコン基板をつなぐ線は加工せずそのままお使いください。

2 ディップスイッチの設定

*正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

<p>SW501, SW500…アドレス設定SW</p> <p>集中管理用のアドレス設定を行います。</p>	<p>SW501 SW500</p> <p>10の位のアドレス 1の位のアドレス</p> <p>SW501が10の位のアドレス、SW500が1の位のアドレスとなりますので、例えばアドレスを「25」に設定する場合にはSW501を「2」、SW500を「5」に設定します。</p>	<p>SW503</p> <p>このグループの機種の設定は右のようにしてください。</p> <p>パターン10</p> <p>パターン11</p> <p>パターン12</p> <p>パターン13</p> <p>パターン14</p> <p>パターン15</p>
<p>SW502の1番…MEリモコン接続数の設定</p> <p>MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する場合 (SW502の2番をOFFに設定)、MEリモコンを1台接続するか2台接続するかを選択します。</p>	<p>1台 </p> <p>2台 </p>	
<p>SW502の2番…接続構成の設定</p> <p>(1) M-NETのシステムにルームエアコンを接続する (集中管理)</p> <p>(2) MEリモコンを使用してルームエアコンをワイヤード化する (単独設置)</p>	<p>集中管理 </p> <p>単独設置 </p>	
<p>SW502の3番、4番…RAC号機切換スイッチ</p> <p>一部屋にルームエアコンを1台しか設置しない場合や、一部屋に2台以上ルームエアコンを設置した場合であっても、ルームエアコン用ワイヤレスリモコンを共通で使用するには1号機に設定してください。もし個別運転をするときには、エアコン本体の基板及びリモコンの改造も必要となります。</p>	<p>1号機 </p> <p>2号機 </p> <p>3号機 </p> <p>4号機 </p>	

3 インターフェイス基板



4 インターフェイスと電源電線及びMEリモコンの接続

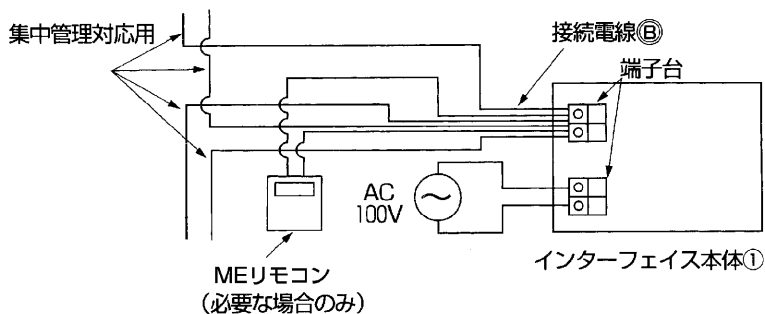
※電源を入れた状態で、信号線の取付け／取外しの作業をしないでください。

また、電源を入れた状態で信号線を短絡させないでください。

インターフェイスにはAC100V電源が必要ですので電源電線接続作業が必要です。（電線は現地手配）

システムコントローラーとの接続を行う場合にはシステムコントローラーとの接続作業が必要です。（電線は現地手配）

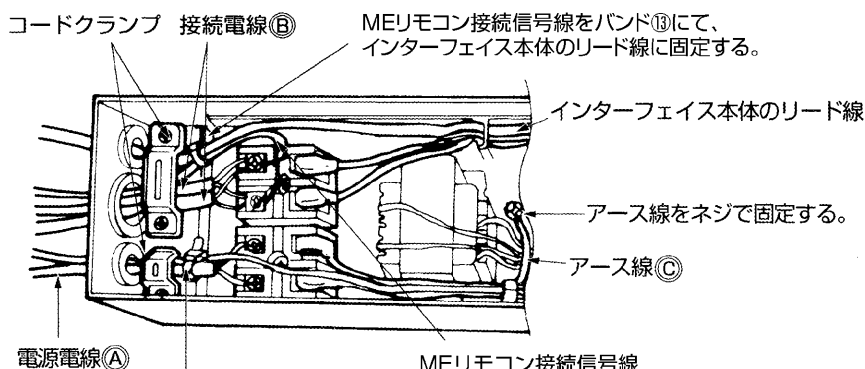
MEリモコンを使用する場合にはMEリモコンとの接続作業が必要です。（電線は現地手配）



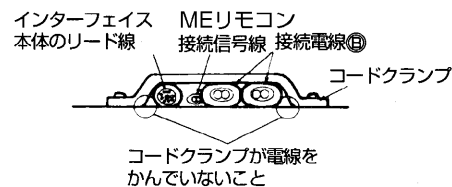
電線皮むき寸法

VVFケーブル 2芯	
適用システムコントローラー・ MEリモコン接続信号線 2芯	

- 注意**
- ①配線工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって施工してください。
 - ②電源回路はインターフェイス専用回路としてください。
 - ③アース工事については「④アース工事について」をご覧ください。
 - ④電源電線とその他の信号電線は誤動作の原因となりますのでできるだけ離して配線してください。



※端子台に配線される電源及び信号線は極性がありません。



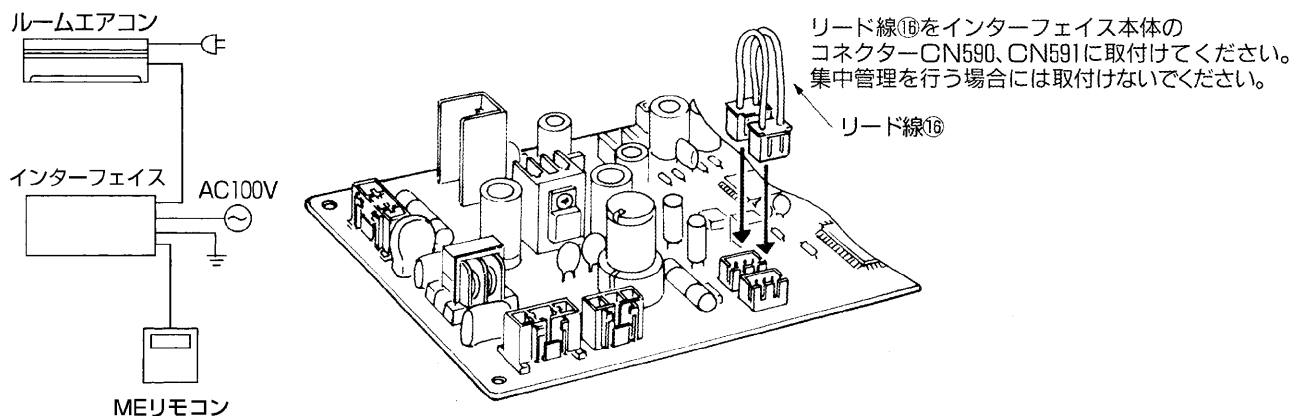
アース線をバンド⑩にて、電源電線に固定する。

MEリモコン接続信号線
MEリモコンの接続信号線をインターフェイス本体へ挿入するときは、必ず接続電線③と同じ入り口から挿入し、左図のように接続電線③の横を通し、重ねて固定しないでください。

注意

配線終了後、各電線をコードクランプでしっかりと固定してください。
工事終了後は端子台の上にはり付けてある銘板を外してください。

5 単独設置時の追加作業（集中管理を行わずワイヤレスリモコンをワイヤード化したい場合に必要な作業です）



単独設置時のMEリモコンのアドレス設定

ルームエアコンをワイヤード化する場合のMEリモコンのアドレス設定は、1台接続時には101に、2台接続時には101、102に設定してください。設定のしかたはMEリモコンに付属の説明書をご覧ください。

注意

基板上のSW502の2番が、単独設置になっていることを確認してください。
（「②ディップスイッチの設定」をご覧ください）